

## 東京藝大と連携 アートで駅前活性化

佐藤 清



**問** アートによる取手駅周辺活性化への4者協定のいきさつは。

**政策推進部長** 市とJ.R、東京藝大、駅ビルを管理する(株)アトレ4者の協定。市のメリットも大きいことから、協力してにぎわいをつくっていかうというのが始まり。

**問** 検討の内容は。

**政策推進部長** 公表できる状況ではないが、世界に誇れる藝大ブランドの発信基地という形で、(株)アトレと藝大が案を練っている。

**問** 年次計画は。

**文化芸術課長** メニューが決定すれば、設計に半年、工事施工含めて2年の予定。

**問** 市の役目は。

**政策推進部長** 町づくり施策の中で駅前周辺の活性化に大きな役割。鉄道、商業との組み合わせでにぎわいを創出していきたい。

**【その他の質問】** 芸術文化の町づくり(藝大との連携)・藤代南中自死事案

## 市内で創業のアップル 活性化を

飯島 悠介



**問** 空き店舗活用補助事業



多くの行政視察訪問があるMatch取手

が改定された。内容とその反応はどうか。

**まちづくり振興部次長** 対象業種を増やした。対象外であった2階以上の店舗でも可能に。改装費用の補助額を下げたが、取手で新たに創業・起業する方は100万円まで可能。理容業で1件確定し、申請、相談中が1件ずつ出ている。

**問** Match取手の達成数値目標。進行状況は。

**答** 43%の達成で高い方。この実数をつかんでいるだけでなくも珍しく、成果がある。

**問** 創業支援、県と産官学での連携は。

**答** 創業に関して県の反応は薄く、引き続き努力する。まちづくり振興部長 東京藝大大学長レベルでは、Matchとの連携の話が出ていく。引き続き協議している。

**問** 特産品、魅力PRのため

め「茨城おみやげ大賞」を狙うプロジェクトを立ち上げては。

**まちづくり振興部次長** 現在検討していない。市長 取手は全国の人が視察に来るぐらいの仕掛けを持っている。いろんな人の出会う回数やストーリーづくりが大切。

## 安心して免許返納 高齢者ドライバー対策

落合 信太郎



**問** 市内の高齢者の運転免許保有状況は。

**安全安心対策課長** 65歳以上の高齢者の免許保有者は2万317人で28.4%(平成29年12月末)。

**問** 運転免許の自主返納の状況は。

**答** 昨年1年間で395人。

**問** 栃木県日光市では独自に高齢者ドライブマークを作成配布、免許返納を促している。市の取り組みは。

**総務部長** 広報、ホームページ等で事例を紹介し、自主返納につながるようにしていきたい。

**問** 運転免許がなくても高齢者が安心して暮らせる移動支援への対策は。

**福祉部長** 3団体が移送サービスを実施。また、地域支え合いづくり推進協議会が地域づくりに取り組み、住民主体の移送サービス団

## 地域の拠点 公民館の活用を

岩澤 信



**問** 公民館の全体の利用者数と利用団体数は。

**教育部長** 昨年度の利用者総数は約40万5千人。4月現在、553団体が登録。

**問** 文科省によると、地域住民全体が気軽に集えるコミュニティ拠点としての変化が求められる、とある。公民館の活用について

**同**。

**公民館課長** 交流活動事業として運動会や夏祭りの実施など、地域づくり拠点としての運営に努める。

**総務部長** 市民協働の視点では、地域課題解決に向けた地域コミュニティを醸成する場として活用できればと考える。

**問** 公民館の需要がある中で、老朽化が目立つ。特に井野公民館は早急な対応が必要と感ずるが、見解は。

**教育部長** 老朽化は大きな課題。井野公民館は今年度多目的ホールの空調、屋根、外壁工事の実施設計を行う。

## とりで障害者協働支援 ネットワークの皆さんと 意見交換会

5月22日、福祉厚生常任委員と、とりで障害者協働支援ネットワークの皆さんとの意見交換会を開催しました。ネットワークの皆さんからは「引きこもりの方など障がい者と認定されない方の就労支援をしてほしい」「車椅子の方がショールステイできる障がい者施設がほしい」など、実体験を基にさまざまな意見が出されました。その後、議場を見学し、バリアフリー化への意見等を提案していただきました。

阿部福祉厚生常任委員長は、「提案の内容が少しでも進展できるように努めていきたい」と話しました。



議場見学の様子

## 議会運営委員会の 構成が変わりました

3月30日、結城議会運営副委員長から議会運営委員の辞任願が提出され、議長

はこの辞任を許可しました。これにより、新たに小堤 修議員が委員に就任しました。

また、4月2日に議会運営委員会を開催し、互選の結果、新副委員長に岩澤 信委員が就任しました。

## 利根川水系南水防事務 組合議会議員 選挙結果

平成30年4月15日の利根川水系南水防事務組合議員の任期満了に伴い、選挙を行いました。その結果、次の8人の同組合議員を選出しました。

- ▽落合信太郎市議(52) 〓本郷▽佐藤 清市議(78) 〓白山▽鈴木英男氏(75) 〓大留山▽関川 翔市議(32) 〓山王▽竹原大蔵市議(41) 〓新町▽遠山智恵子市議(64) 〓藤代▽永野照男氏(68) 〓山王▽谷口 晃氏(61) 〓和田五十音順・年齢は発行日現在

**利根川水系南水防事務組合**：利根川水系地域における広域的防水に関する事務を共同処理するため、平成14年に一部事務組合として設立(前身・中利根川小貝川沿岸水害予防組合および小貝川牛久沼沿岸水害予防組合)。同組合議会には取手市民から8人が選挙されています。当該市議の被選挙権がある人から選出するため、市議でなくても組合議員に就くことができます。